

■地方創生の取組に係る意見一覧

参考資料1

No	委員名	意見等	意見等に対する市の考え方
近未来技術等社会実装によるユニバーサル未来都市の実現 [地方創生推進交付金]			
1	松永委員	ドローンについて、横須賀市など他都市では実際に荷物を運ぶ実証実験も進んでおり、流れに遅れないように、事業を進めていただきたい。	ドローンについては、東京湾臨海部における宅配構想に加え、R3.6に、横浜市・千葉市間(約50km)の東京湾縦断長距離飛行の実証実験を行ったところであり、単価が高く、軽量のものの宅配は技術的に可能と考えている。 今後、「有人地帯上空での補助者無し目視外飛行」を可能とする2022年の航空法改正も見据え、社会的なニーズを踏まえたドローン宅配の実装に向けた検討を進める。
観光誘客による市内陸部の地域経済活性化及び農業振興 [地方創生推進交付金]			
2	岩崎委員	アニマルウェルフェアという先駆的な表現を用いるのであれば、千葉市民や市外から来る方々への啓発活動にも含めて使用すると、より有意義である。	アニマルウェルフェアについては、市民に対する周知啓発の取り組みを検討する。 農業支援イベントについては、感染症拡大への対応を図りつつ、これまで実施してきた区役所等での朝市や中心市街地と連動したイベントの実施などを検討していく。
3	望月委員	農業支援について、千葉神社の門前町構想により、通町公園がきれいに整備されているため、マルシェイベントや朝市などに活用できると良い。	
重点戦略1・施策(1)・合同企業説明会の共同開催			
4	麻畑委員	合同企業説明会について、参加者の次のステップの推移を把握できると良い。 また、適材適所で良い学生を中小企業の採用に結び付けることが目的のため、開催後のフォローまでしていただきたい。	現在、合同企業説明会の開催により、採用に至った人数は把握できていないが、中小企業の採用が難しいことは承知しており、今後、参加者及び参加企業の説明会後のフォローアップについても検討する。 また、事業の効果を適切に評価できるようKPIの変更についても検討を行う。
5	鈴木委員	今は難しいかもしれないが、アウトプットからアウトカムのKPIに代えることができるひとつではないか。	

■地方創生の取組に係る意見一覧

参考資料1

No	委員名	意見等	意見等に対する市の考え方
重点戦略2・施策(3)・商業者の創業支援			
6	望月委員	中央公園周辺の商店街は、シャッターが下りている店も多いため、モデルケースのような形で商店街と組み、創業支援を進めることができると思う。	中心市街地では、複数の再開発プロジェクトが進展するとともに、歩いて楽しいまちづくりを進めているところであり、これらの取組みと連携したイベント実施についても検討する。 チャレンジショップに関連する事業として、店舗型のインキュベート施設を設置していたが、入居率が低迷していたことにより廃止となった。後継事業として、レンタルオフィス(場所限定)や商業者創業支援(業種限定)を実施してきたが、令和3年8月からは、場所や業種を限定しない創業者向けの補助制度を創設する。
7	麻畑委員	チャレンジショップのような場所を用意し、短期間安い賃料でトライアルとして出店できる取組を進めてはどうか。そうした店舗を広報し、人を集めることで、近隣への良い影響もできると思うため、検討していただきたい。	
重点戦略6・施策(1)都市アイデンティティの確立			
8	岩崎委員	千葉市にアイデンティティがあると思う人の割合を本当の意味で増やしたいのであれば、郷土博物館など歴史的なものにも配慮した予算措置をしていただきたい。	加曽利貝塚が国の特別史跡に指定され、新博物館を整備する計画であり、直近の投資比重がそちらに傾いているのは事実であるが、郷土博物館などの地域資源も活用しながら、都市アイデンティティの確立に向けた取組みを充実する。